

記 載 要 領

早稲高等学校

I 入学試験願書

- 1 推薦入学試験
志願学科・コースは第一志願のみです。第一志願に○印を記入します。
ただし、普通科ビューティーコースの美容専攻・理容専攻間のみ第二志願ができます。第二志願がない場合は○印を記入しないでください。他の学科・コースとの間ではできません。
なお、推薦入学試験受験票には第一志願のみ○印を記入します。
- 2 専願入学試験
志願学科・コースは第一志願のみです。第一志願に○印を記入します。
ただし、普通科ビューティーコースの美容専攻・理容専攻間のみ第二志願ができます。第二志願がない場合は○印を記入しないでください。他の学科・コースとの間ではできません。
なお、専願入学試験受験票には第一志願のみ○印を記入します。
- 3 一般入学試験
志願学科・コースは第三志願まで可能です。第一志願、第二志願、第三志願とも○印を記入します。
ただし、第二志願、第三志願がない場合は○印を記入しないでください。
なお、一般入学試験受験票には第一志願のみ○印を記入します。
- 4 *の「受験番号」の欄は、記入しません。
- 5 「性別」の欄は、当該生徒の性別を記入します。
- 6 「電話」の欄は、自宅（市外局番から）または携帯の、連絡が付きやすい方の番号を記入します。
- 7 推薦入学試験に出願する者は欄外右上隅を、専願入学試験に出願する者は欄外左上隅を、赤色で塗りつぶします。
- 8 帰国生徒等は、欄外左下隅の帰国生徒等の部分を赤色で塗りつぶします。
- 9 受験料は郵便局で振り込み、郵便振替払込受付証明書票を入学試験願書の裏に貼付します。
※ 推薦入学試験、専願入学試験を受験し、一般入学試験を再受験する場合は受験料は不要です。
で郵便振替払込受付証明書票を貼付する必要はありません。
- 10 推薦入学試験、専願入学試験で合格し、すでに入学手続きをしている者で奨学生希望のため再受験をする場合は、入学試験願書の裏の「再受験奨学生希望」の欄に推薦または専願入学試験時の受験番号を記入してください。
- 11 転コース・転類試験を希望する者は、入学試験願書の裏の「転コース・転類希望」の欄に一般入学試験時の受験番号を記入してください。

II 調査書

- 1 「第一志願」、「第二志願」、「第三志願」の欄には、志願する学科・コース等を記入します。学科コース等は様式のプルダウンから選択できます。第二志願、第三志願がない場合は、当該欄に右上から左下にかけて斜線を引きます。
- 2 「性別」の欄は、当該生徒の性別を記入します。
- 3 *の「受験番号」は記入しません。
- 4 推薦入学試験に出願する者は欄外右上隅を、専願入学試験に出願する者は欄外左上隅を、赤色で塗りつぶします。
- 5 帰国生徒等は、欄外左下隅の帰国生徒等の部分を赤色で塗りつぶします。
- 6 学習の記録欄
 - (1) 「観点別学習状況」の「評価」の欄は、A、Cのみを記号により記入します。Bは記入しません。
 - (2) 「評定」の「1年」、「2年」の欄は、指導要録から転記します。
 - (3) 「評定」の「3年」の欄は、第3学年の第1、2学期の成績をもとに5段階評定で記入します。
 - (4) 「5教科の評定合計(a)」の欄は、各学年ごとに、国語、社会、数学、理科、外国語(英語)の各評定を合計したものを記入します。
 - (5) 「4教科の評定合計(b)」の欄は、各学年ごとに、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の各評定を合計したものを記入します。
 - (6) 「9教科の評定合計((a)+(b))」の欄は、各学年ごとに「5教科の評定合計(a)」と「4教科の評定合計(b)」を合計したものを記入します。
 - (7) 「9教科の評定合計の3か年の合計」の欄は、各学年の「9教科の評定合計((a)+(b))」を

合計したものを記入します。

(8) 「総合的な学習の時間の記録」の欄は、この時間に行った学習の中で、顕著な活動について、その内容や取組状況等を記入します。

7 「行動の記録」の欄は、第3学年における第1、2学期の行動の記録について、各項目ごとに「中学校等の指導要録に記載する事項等」に準じて、○印を記入するか又は空欄とします。

8 「出欠の記録」の3年の欄は、第2学期末までのものを記入します。また、欠席日数、遅刻回数、早退回数が各学年で10回以上ある場合は、必ずその理由を記入してください。なお、理由の欄に記入できない場合は「総合所見及び参考となる諸事項」の欄に記入してください。

9 総合所見及び参考となる諸事項の欄

生徒の成長の状況を総合的に捉えるため、次の(1)～(8)の項目のような事項をおおむねその順で記入します。

なお、記入に際しては、生徒の優れている点や長所、進歩の状況などを取り上げることが基本となるよう留意します。

(1) 各教科の学習に関する所見

各教科の学習について、総合的にみた場合の生徒の特徴や、指導上特に留意した事項を記入します。

(2) 行動に関する所見

行動の状況について、全体的に捉えた生徒の特徴を記入します。

(3) 特別活動に関する事実及び所見

3か年の特別活動における生徒の活動状況について、主な事実及び総合的にみた場合の所見を記入します。また、学校内外における体育活動、文化活動、社会参加活動等について、参考となる事項を記入します。

(4) (1)～(3)の項目で記載できなかったことで参考となる諸事項や、その他、特筆すべき事項があれば記入します。

(5) 帰国生徒等については、帰国前の国名、在住期間（平成○年○月～令和○年○月）、帰国後の編入学年、日本語の理解度等、選抜に必要であると思われる事項を記入します。

(6) 疾病等の状況について、特に必要であると思われる事項を記入します。

(7) 記載事項の無い場合は、当該欄に右上から左下にかけて斜線を引きます。

(8) 過年度卒業生については、記入できる範囲で指導要録から転記します。

10 「5教科の3年間の評定平均値」の欄は、「5教科の評定合計(a)」の3か年の評定合計を15でわり算をし、小数第二位を四捨五入して、小数第一位までで示します。

III 推薦書

1 *の「受験番号」の欄は、記入しません。

2 「志願学科・コース等」の欄は、右枠の中に○印を記入します。

3 「推薦所見」の欄は、志願の動機、適性、関心、意欲、学業等について総合的に記入します。

IV 志願理由書（推薦入試のみ）

1 「中学校名」、「志願者氏名」、「志願学科・コース等」を記入します。

2 志願理由は、志願の動機、関心、意欲等について記入します。

3 志願理由書は志願者が記載してください。

V 特別配慮申請書

1 障害等のあることにより特別な配慮を必要とする志願者は、希望する配慮の内容を特別配慮申請書により、出願締め切り日までのできるだけ早い時期に、中学校長を経由して、高等学校長に申請してください。

2 特別配慮申請書提出期限以降に生じた病気や負傷等により特別な配慮が必要となった場合も申請してください。ただし、日程上、書面による申請及び通知が困難な場合は、中学校長及び高等学校長は、協議により、書面による手続きの一部または全部を口頭による手続きに変えることができます。